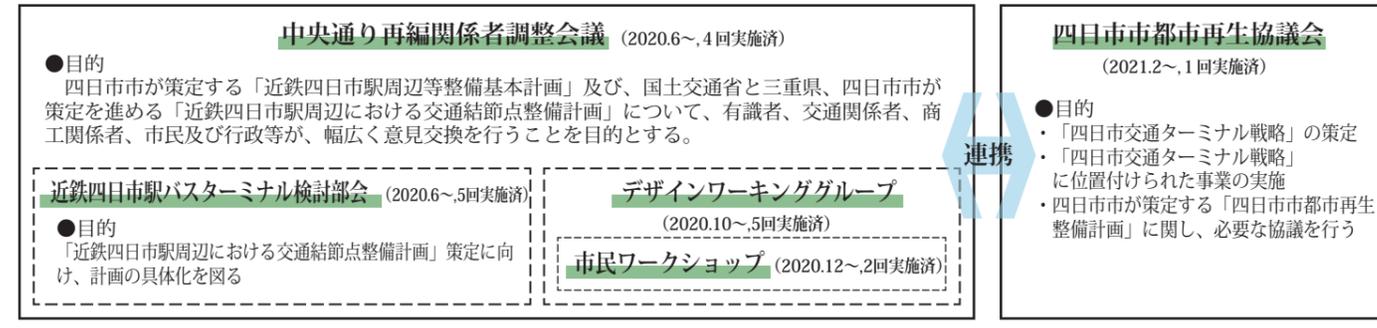


1. 近鉄四日市駅周辺等整備基本計画 中間とりまとめ について

近鉄四日市駅及びJR四日市駅の駅前広場や歩行空間等の整備・高次都市機能集積による『居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかの形成』に向けて、近鉄四日市駅周辺等整備事業の推進を図るため、「中央通り再編関係者調整会議」を設置し、有識者、交通関係者、市民および行政等が、さまざまな立場や観点から幅広く意見交換を行ってまいりました。

このたび、これまでの意見交換により決定してきた事項や、今後の検討の方向性等を整理し、「近鉄四日市駅周辺等整備基本計画 中間とりまとめ」として公表するものです。

今後、この中間とりまとめのさらなるブラッシュアップを進め、具体の整備に反映していきます。



2. 近鉄四日市駅周辺等整備基本構想の方向性

視点①:賑わい・もてなし空間の創出と回遊性の向上

「顔・賑わいづくり」

視点②:まちづくりと連動した交通機能の配置

「交通機能強化」

視点③:中央通りを活用した空間の魅力向上

「空間の魅力向上」

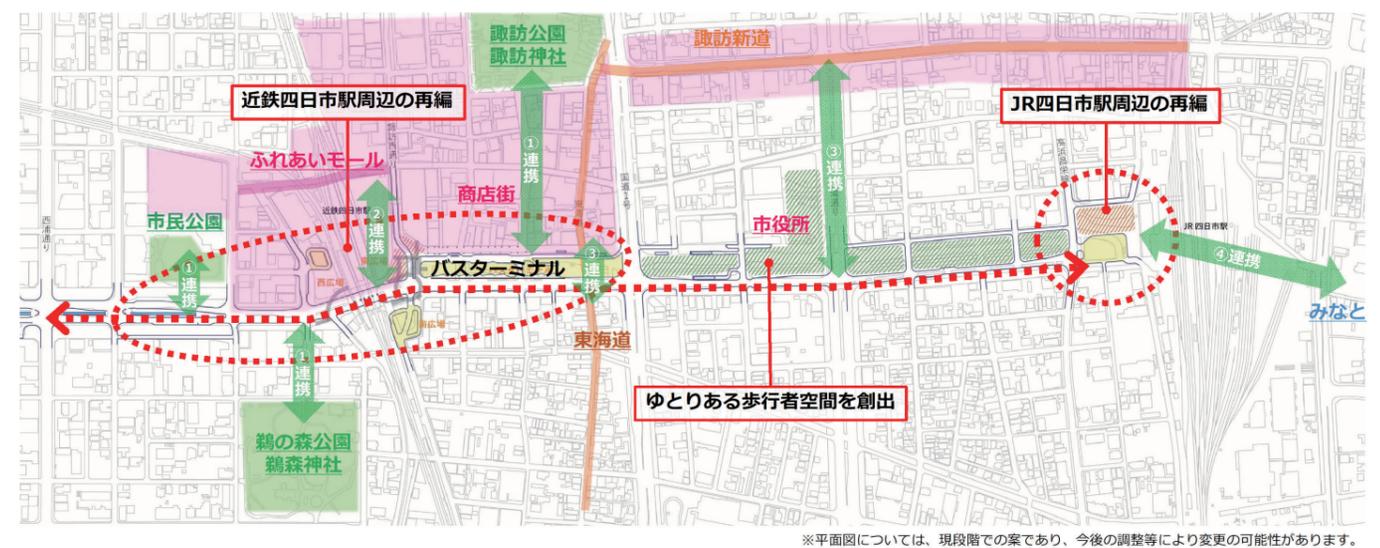
3. 共通のデザイン方針

- 「近鉄四日市駅周辺等整備基本構想」を踏まえ、基本構想策定後に策定された「四日市市総合計画」等を反映し、基本計画の検討を実施中
- 基本計画の骨子を「中央通りのエリアデザイン」としてとりまとめ
- 中央通り全体が目指す空間像の目標として「共通のデザイン方針」を設定

空間の使い方	空間の要素と配置	空間の質
 参考イメージ	 参考イメージ	 参考イメージ
目標1 居心地が良く歩きたくなる空間づくり 目標2 市域・他都市とつながる一大交通拠点づくり 目標3 最先端の取り組みのショーケースとなる空間づくり	目標1 歩行者を中心とした交通施設の配置 目標2 人が集い、賑わいを生み出す施設の配置 目標3 緑あふれる施設配置	目標1 市民の誇りとなる高質な空間の設え 目標2 歴史や緑を活かした空間の設え 目標3 使いやすく可変性を持った空間の設え

4. 各エリアのデザインを考える前提条件

- 車両動線を狭めて南側へ集約し、北側に並木空間を活用した「ゆとりある歩行者空間」を創出
- 「近鉄四日市駅周辺の再編」として、交通結節機能の強化(バスター導入)や、都市機能を誘導
- 「JR四日市駅周辺の再編」として、交通結節機能の強化や、都市機能を誘導

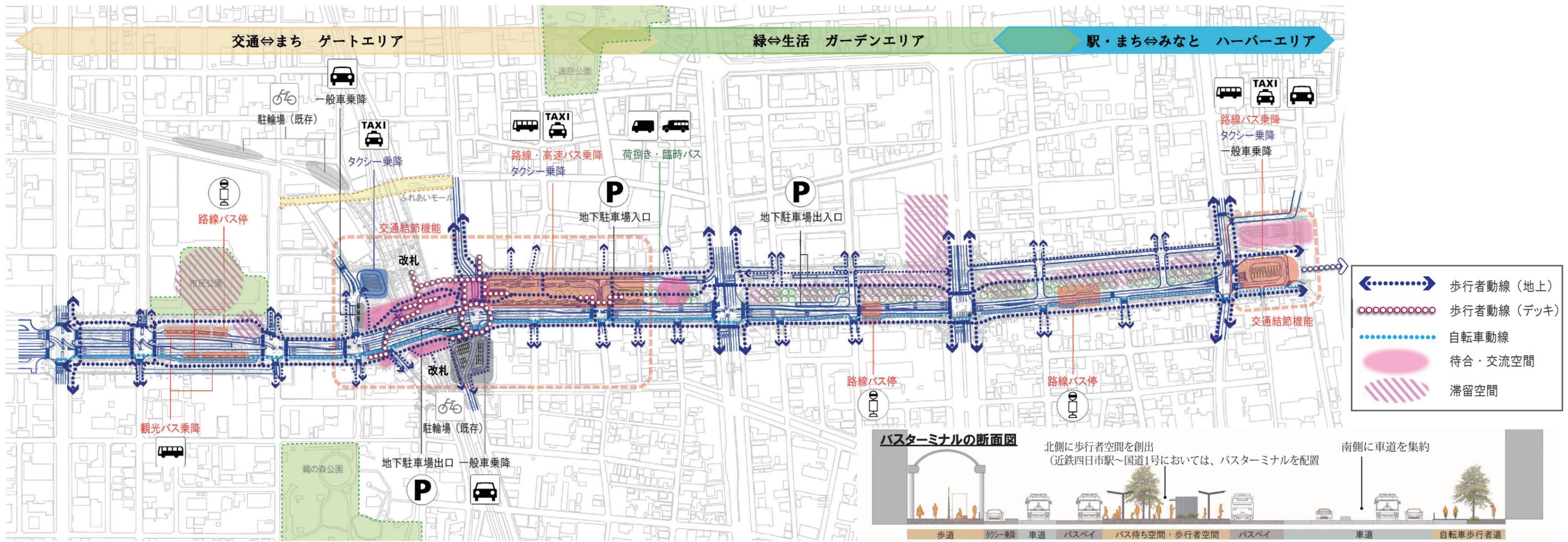


5. 各エリアのデザイン方針

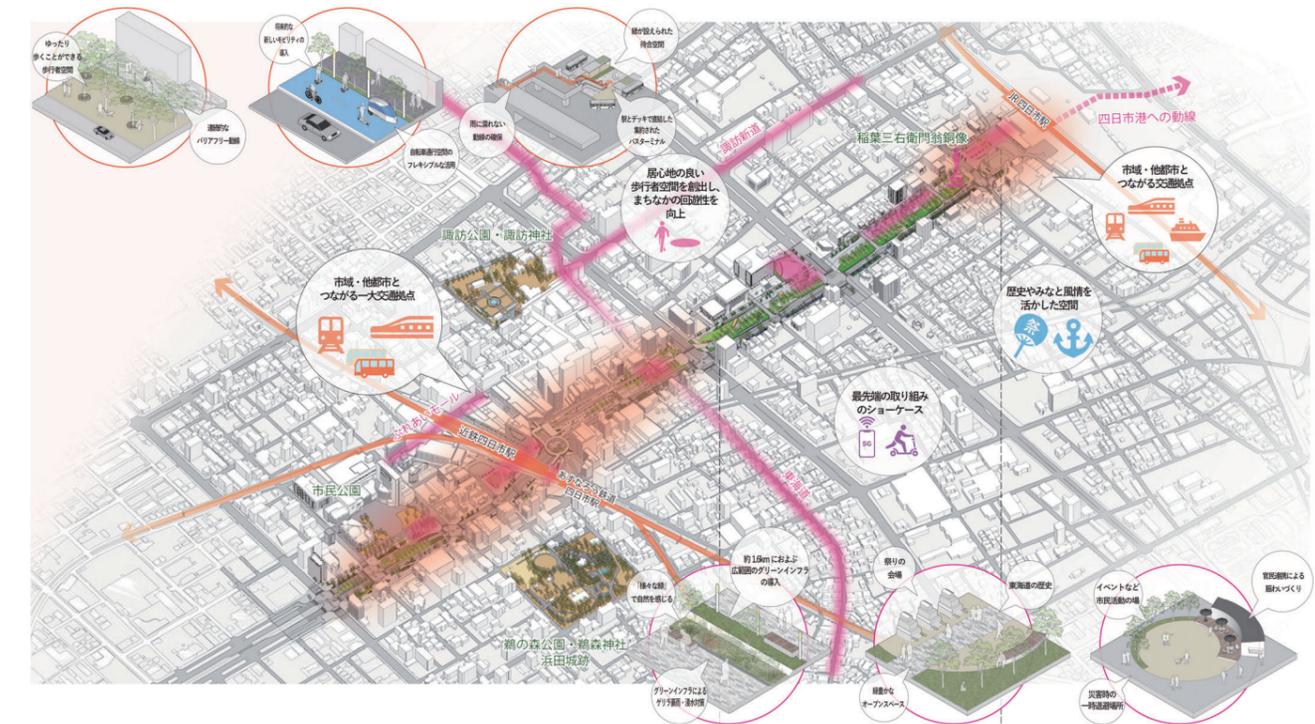
- 全長約1.6kmの中央通りから「みなと」につながる範囲に、沿道特性等をふまえ下記3つのエリアを設定
- 〈ゲートエリア〉：近鉄四日市駅周辺(西浦通り～国道1号)
- 〈ガーデンエリア〉：市役所周辺(国道1号～JR四日市駅)
- 〈ハーバーエリア〉：JR四日市駅周辺(JR四日市駅～みなと)



6. 歩行者動線および歩行者空間と交通機能の配置イメージ



7. 全体レイアウトや導入機能のイメージ

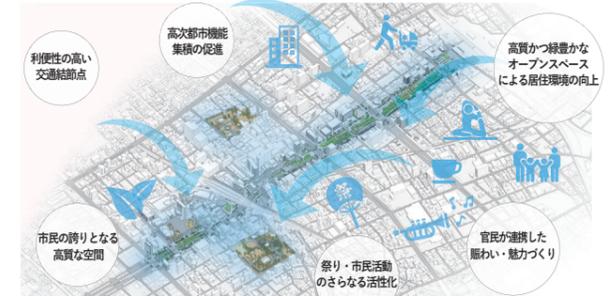


8. 目指す効果

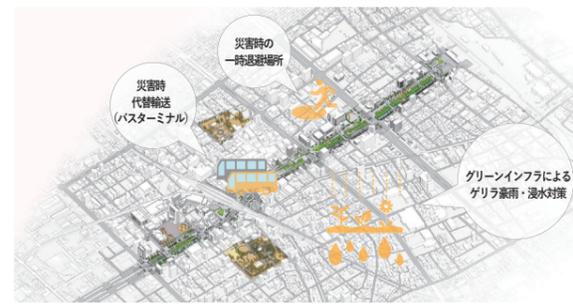
まちなかの回遊性向上による賑わいの展開



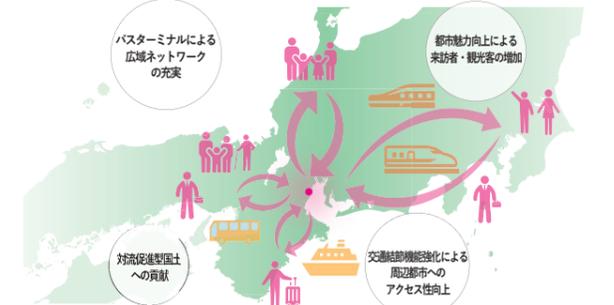
都市の魅力・暮らしの質向上による東海地域をリードする、産業・交流拠点都市の実現



防災機能の向上による安心・安全都市の実現

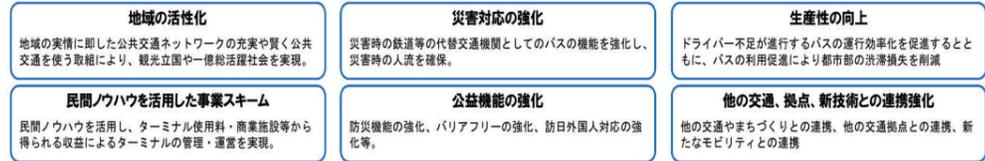


広域連携強化による交流人口の増加



9. バスターミナルの施設配置方針

バスターミナルの狙い



四日市バスターミナルの基本目標

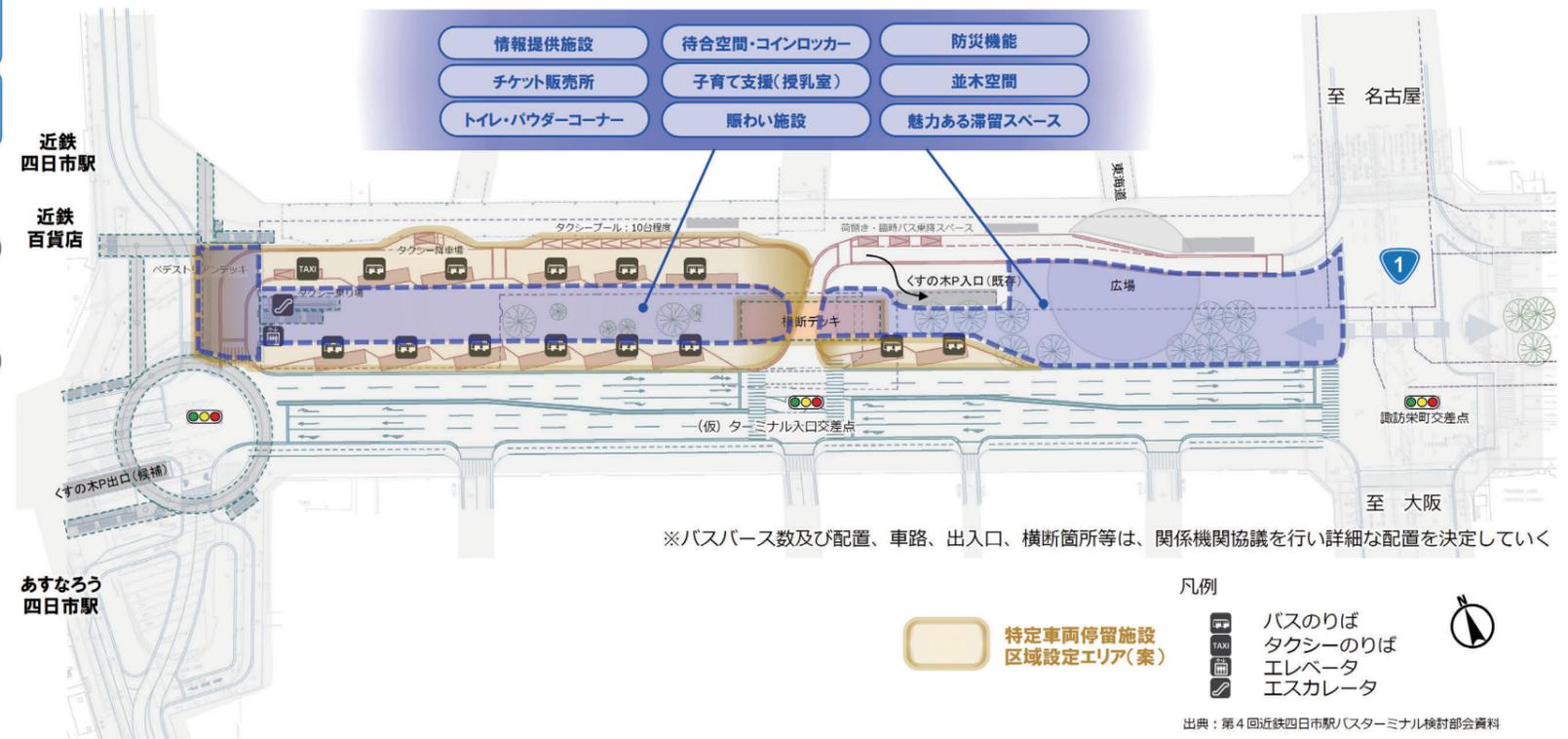


バスのりば・車路・待合広場の配置の考え方

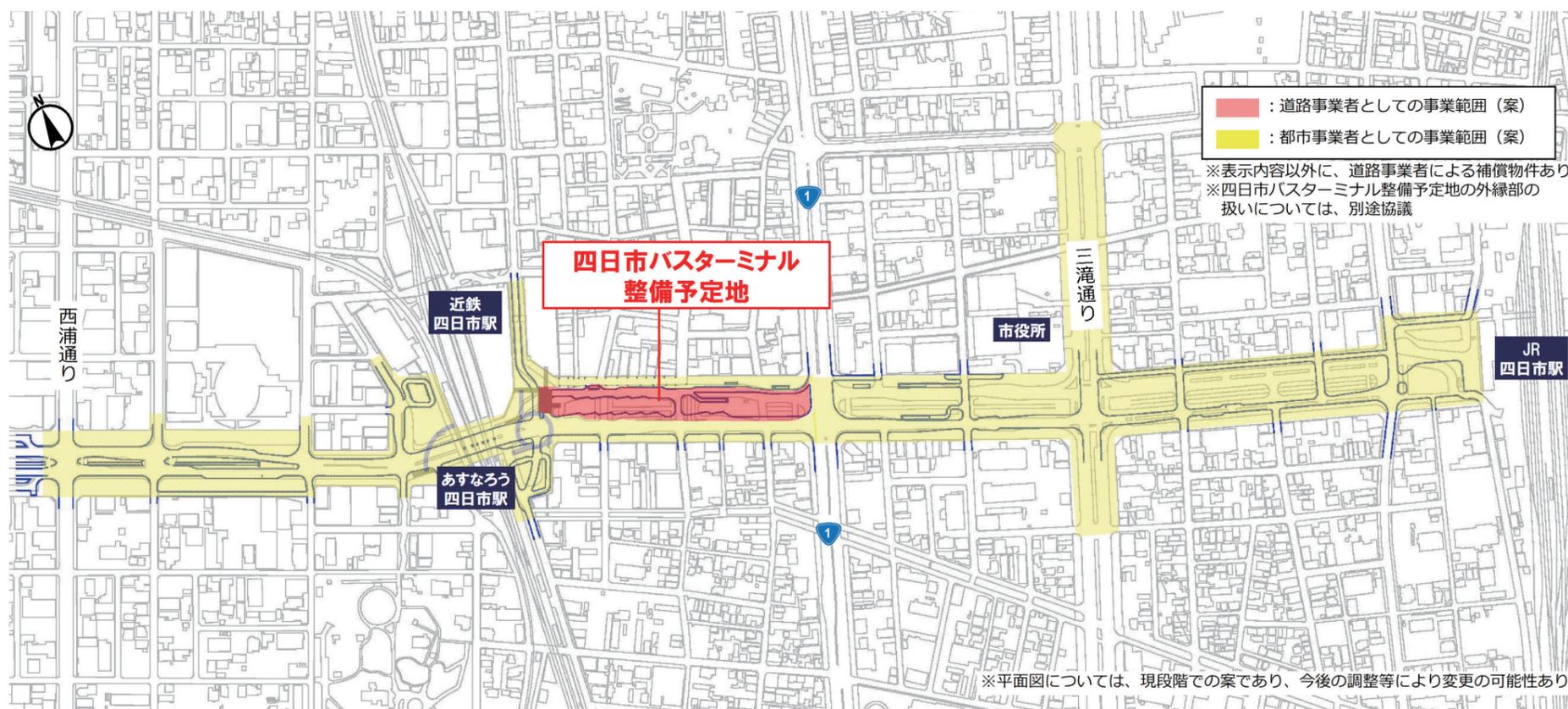
- ◆ ターミナル内に入構する車両は、路線バスおよびタクシー。
- ◆ 車両動線および歩行者空間の利便性・快適性のバランスを考慮の上、バース・待合広場を配置。

各機能の配置の考え方

- ◆ 屋内待合空間と各種機能を連携させ、待合時のワンストップの利便性を高める。
- ◆ 各島に待合・券売の基本機能と賑わい施設を配置。
- ◆ 商店街に隣接した賑わい空間を形成する。
- ◆ 東海道との交差部には並木と賑わい施設を導入。



10. 事業区分



11. 今後の進め方

・関係者等と調整を図りながら、段階的に事業を推進していきます

	令和2年度(2020)	中期ステップ	長期ステップ
近鉄四日市駅周辺整備		検討・設計・工事	
バスターミナル	整備方針	事業計画	検討・設計・工事